

ケース1: 破碎ごみの焼却処分

① 破碎ごみ



家庭から出る破碎収集ごみ



大畑センターで保管



三の倉センターへ直接搬入破碎ごみ



三の倉センターで一時保管

大畑センターへ移送

重機による仕分け作業
(破碎ごみ600kgを約7分で
磁石によって仕分けする)

人力による仕分け分解作業

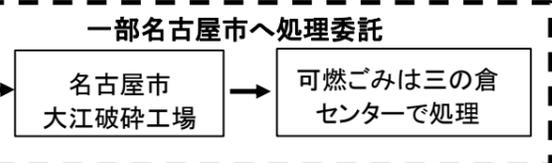
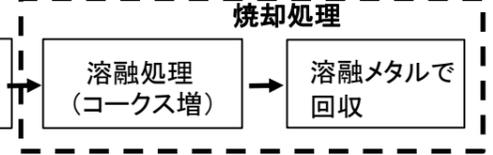
金属のみは、大畑センターで保管。
可燃ごみ付着部分は、三の倉センターで処理。(一部は名古屋市へ)

可燃ごみ

金属部分

三の倉センター

大畑センターで保管



アルミ製の鍋、やかん (約10kg)

の及びプラスチック分解作業

金属部分

可燃ごみ

大畑センターで保管

三の倉センターで処理

バッテリー製品 (リチウムイオン等)

廃乾電池引取業者

② 飲料缶



資源収集で集められた缶及び各センターに直接搬入された缶



大畑センターに保管

重機で選別及び圧縮作業

ヤード内で手選別作業

アルミ缶

重機で積込をして搬出

スチール缶

その他金属として搬出

*将来的には、自動缶選別圧縮機の導入については引き続き検討する。

③ 自転車



資源収集で集められた自転車及び各センターに直接搬入された自転車



収集した自転車

大畑センターに保管 約500台

手選別作業

状態の良い自転車

有償で引取可能

状態の悪い自転車

分解・解体作業

金属部分

可燃部分

大畑センターで保管

三の倉センターで処理

分解・解体作業が困難なものについては、名古屋市に処理委託する。